



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: <https://npb.jp/>



2021年10月14日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

9月度「スカパー！ サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の9月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金30万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

坂倉 将吾
(広島東洋カープ)
初受賞

坂倉選手は、9月7日(火)マツダスタジアムで行われた対中日ドラゴンズ18回戦、7対5と2点ビハインドで迎えた9回裏、2死1、2塁の場面で打席に立ち、乱打戦を制するライトスタンドへ運ぶ逆転サヨナラ3点本塁打を放った。

広島東洋は、先発の森下投手が6回途中4失点と試合を作れず、2番手以降の投手陣も中日打線を食い止められないまま9回表終了時点で7対3と苦しい状況を迎えていた。しかし、続く9回裏、下位打線の連打により2死1、3塁とチャンスを作り、3番西川選手、4番鈴木誠選手の連続適時打で2点差に追い上げると、2死1、2塁の場面で坂倉選手が打席に立った。本塁打を放てば今シーズン初のサヨナラ勝利となる場面で、カウント2-1から中日の守護神R. マルティネス投手の直球を捉え、打球はそのままライトスタンドへ突き刺さった。この劇的な一打は、自身初となるサヨナラ打になると同時に二桁本塁打を達成し、セ・リーグの打率トップ(打率.332)に躍り出て、飛躍のシーズンを象徴する一打となった。

なお、広島東洋での逆転サヨナラ本塁打による受賞は2018年7月度の下水流昂選手(現東北楽天)以来。坂倉選手はスカパー！サヨナラ賞初の受賞となる。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

B. レアード
(千葉ロッテマリーンズ)
4度目

レアード選手は、9月10日(金)ZOZO マリンスタジアムで行われた対東北楽天ゴールデンイーグルス19回戦、2対2の同点で迎えた9回裏、2死走者無しの場面でレフトスタンドへサヨナラ本塁打を放った。

この試合、千葉ロッテは2回にレアード選手のソロ本塁打で先制し、3回には荻野選手の中前適時打でリードを広げたが、6回に同点に追いつかれる。その後、千葉ロッテ先発の佐々木朗投手、東北楽天先発の田中将投手、両先発投手の粘りの投球でお互い追加点を許さず、試合は膠着状態のまま9回の攻防に。千葉ロッテは抑えの益田投手が無得点に抑え負けを無くし、9回裏の攻撃へ。マウンドには東北楽天2番手の酒居投手。3番からの好打順であったが、中村奨選手、マーティン選手は打ち取られてしまい、2死となった場面で打席には、この試合ここまで先制本塁打を含む2安打のレアード選手。1ストライクからの2球目を強振すると、打った瞬間にサヨナラ本塁打とわかる打球はレフトスタンド上段へ突き刺さった。頼れる助っ人の一振り、激しい首位争いを繰り広げるチームを勢いづける価値ある一打となった。

レアード選手はスカパー！サヨナラ賞4度目の受賞となる。



月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: <https://npb.jp/>



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	中村 紀洋 (横浜DeNA)	田中 賢介 (北海道日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (北海道日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島東洋)	柘田 慎太郎 (東北楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (東北楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (東北楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (千葉ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (埼玉西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (東京ヤクルト)	B.レアード (北海道日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (東京ヤクルト)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島東洋)	嶋 基宏 (東北楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
9月度	石原 慶幸 (広島東洋)	片岡 治大 (埼玉西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (福岡ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (千葉ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島東洋)	B.レアード (北海道日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (横浜DeNA)	B.レアード (北海道日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (埼玉西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (千葉ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	B.エルドレッド (広島東洋)	A.ジョーンズ (東北楽天)
5月度	梵 英心 (広島東洋)	加藤 翔平 (千葉ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (横浜DeNA)	今宮 健太 (福岡ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (埼玉西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (千葉ロッテ)
9月度	T. ブランコ (横浜DeNA)	松井 稼頭央 (東北楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	鵜久森 淳志 (東京ヤクルト)	聖澤 諒 (東北楽天)
5月度	荒木 貴裕 (東京ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (福岡ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸 (東京ヤクルト)	J. アマダー (東北楽天)
8月度	宮崎 敏郎 (横浜DeNA)	栗山 巧 (埼玉西武)
9、10月度	安部 友裕 (広島東洋)	A.デスパイネ (福岡ソフトバンク)



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: <https://npb.jp/>



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	下水流 昂 (広島東洋)	森 友哉 (埼玉西武)
5月度	山下 幸輝 (横浜DeNA)	清田 育宏 (千葉ロッテ)
6月度	山田 哲人 (東京ヤクルト)	上林 誠知 (福岡ソフトバンク)
7月度	下水流 昂 (広島東洋)	山下 斐紹 (東北楽天)
8月度	鈴木 誠也 (広島東洋)	Y.グラシアル (福岡ソフトバンク)
9、10月度	上田 剛史 (東京ヤクルト)	中島 宏之 (オリックス)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	青木 宣親 (東京ヤクルト)	中田 翔 (北海道日本ハム)
5月度	高山 俊 (阪神)	辰己 涼介 (東北楽天)
6月度	原口 文仁 (阪神)	鈴木 大地 (千葉ロッテ)
7月度	Y.ソラーテ (阪神)	中村 剛也 (埼玉西武)
8月度	石川 慎吾 (巨人)	清田 育宏 (千葉ロッテ)
9月度	N. ソト (横浜DeNA)	E. メヒア (埼玉西武)

2020年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
6、7月度	西浦 直亨 (東京ヤクルト)	A. ロドリゲス (オリックス)
8月度	上本 崇司 (広島東洋)	山川 穂高 (埼玉西武)
9月度	吉川 尚輝 (巨人)	茂木 栄五郎 (東北楽天)
10、11月度	高橋 周平 (中日)	井上 晴哉 (千葉ロッテ)

2021年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	亀井 善行 (巨人)	岡 大海 (千葉ロッテ)
5月度	岡本 和真 (巨人)	該当試合無し
6月度	大和 (横浜DeNA)	T-岡田 (オリックス)
7、8月度	大山 悠輔 (阪神)	高濱 祐仁 (北海道日本ハム)
9月度	坂倉 将吾 (広島東洋)	B. レアード (千葉ロッテ)
10月度		

(参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (千葉ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島東洋)	小久保 裕紀 (福岡ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (北海道日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
2015年度	雄平 (東京ヤクルト)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島東洋)	吉村 裕基 (福岡ソフトバンク)
2017年度	宮崎 敏郎 (横浜DeNA)	栗山 巧 (埼玉西武)
2018年度	下水流 昂 (広島東洋)	森 友哉 (埼玉西武)
2019年度	高山 俊 (阪神)	鈴木 大地 (千葉ロッテ)
2020年度	西浦 直亨 (東京ヤクルト)	井上 晴哉 (千葉ロッテ)